



健康社会学研究会

ニューズレター No.97

発行：健康社会学研究会

事務局：〒157-8565 東京都世田谷区北烏山 8-19-1 日本女子体育大学 助友裕子研究室内

(担当：助友裕子、細川佳能)

TEL/FAX 03-3300-3216 E-mail: healpro.info@gmail.com

ニューズレター NO. 97 / 2021 年 9 月

第 132 回 定例会のご案内 (オンライン)

<第 132 回定例会>

テーマ：「児相で働いてみたら、衝撃でした。

～ヘルスプロモーション風に考えてみた～

話題提供者：鈴木 了栄 先生（北海道室蘭児童相談所）

【日 時】：2021 年 11 月 13 日 (土) 15:30～17:30 (15 時 15 分より接続可能)

【方 法】：オンライン会議システム Zoom

※当日の参加 URL は、申し込みいただいた方に、別メールにてお知らせいたします。

【参加費】：[会員] 無料、[非会員] 500 円 (但し、学部生無料)

【申し込み】：下記 Google フォームよりご登録ください。

<https://forms.gle/XbS4KMceqtDmkEH4A>

※申込締切：令和 3 年 11 月 9 日 (火)



Google フォーム

皆様のご参加心よりお待ちしております！

第 131 回 定例会報告

<第 131 回定例会>

テーマ：みんなで育む保育のこれから

—多分野連携のための現状と課題—

話題提供者：大浦 麻絵 先生（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座）

手塚 崇子 先生（川村学園女子大学教育学部幼児教育学科）

コーディネーター：助友 裕子 氏（日本女子体育大学体育学部）

【日 時】：2021 年 8 月 14 日 (土) 15:30～17:30

【方 法】：オンライン会議システム Zoom

※当日の講演内容は裏面の QR コードから 9 月 30 日 (木) まで視聴可能です。

《第 131 回 定例会 講演動画》



実家への帰省もガマンのお盆。オンライン帰省の隙間時間を縫って、第 131 回定例会がオンラインで開催されました。2 名の演者を含む総勢 30 名の参加がありました。

まず、札幌医科大学の大浦先生からは、自身の育児経験をふまえ、大好きな保育士の離職が後を絶たないことから保育士コホート研究を立ち上げたこと、札幌を拠点に園長ネットワークを活用してアクションリサーチが進みつつあること、健康社会学研究会でも共同研究をしませんか、との働きかけがありました。

次に、川村学園女子大学の手塚先生からは、保育士養成校の立場から、保育現場が抱える課題の整理と解決策の洗い出しに向けた問題提起をしていただきました。

その後、

- ・保育士の離職防止やメンタルヘルスの改善に寄与する要因
- ・それらの解決策アイデア

に焦点をあてて、参加者とのディスカッションが行われました。多分野連携という本テーマの趣旨に、十分合致する議論となったことは想像の通りです。

その後の懇親会も和やかに進み、会終了後も参加者の何名かで共同研究に向けた準備が進んでいることもうかがっています。今後の研究会活動においても、今回のような会員同士の共同研究の場づくりに貢献できることを願わずにはられません。

(文責: 助友 裕子)

事務局からの連絡

◆書籍のご案内

「健康社会学～理論体系モデル試論～」が垣内出版より刊行されました。健康社会学研究会初代代表の島内憲夫先生がご執筆されています。ぜひともご一読ください。